

【鬼村鉱山 トロッコプロジェクト】 課題研究でトロッコを再現します

大田市大屋町には50年以上前に閉山した鬼村鉱山がありました。そこで採取された石こうは人力のトロッコで4km離れた静間駅や和江港まで搬出されていたそうです。西日本では稀有の石こう鉱山で日本の産業発展に貢献しました。

この度、課題研究の授業で生徒が鬼村鉱山のトロッコをイメージできるものを製作させていただくことになりました。5月15日（金）、松代・鬼村鉱山等調査研究協議会、ふるさとおにむらづくり実行委員会の安藤様、縄江様にお世話になり、2時間近く、鬼村鉱山についてご説明やご案内をいただき、トロッコについて学びました。坑道の入り口やわずかに残る線路を生徒は興味津々で見学していました。身近な地域に日本の産業を支えた鉱山があることに驚きました。

生徒が有している工業技術を活用してトロッコを再現し、産業遺産を伝えておられる皆様や地域のお役になればと考えています。いろいろな素晴らしいご縁をつぎつぎといただき、地域の皆様のご協力のおかげで、手作りながら真正性（リアル）な学びができることに本当に感謝しています。

この日も、安藤様、縄江様にはお仕事をお休みされる等でご案内をいただくとともに、たくさんの差し入れまでいただきました。ありがとうございました。今後、トロッコプロジェクトは定期的に紹介していきます。また、本日の様子は動画でも来週紹介します。

※見学は安藤様、縄江様のご案内・ご指導をいただきながら、安全に配慮して実施いたしました。



幸せを運ぶ鳥 江津工業裏キャラ「ふくちゃん」

SNSにも掲載してあります



@GOTSU_TECHNICAL